

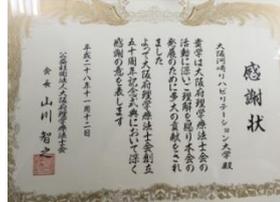
12月の主な行事

11/25(金)	公募制推薦入学試験B日程・社会人入学試験B日程・編入学試験C日程 合格発表
11/27(日)	オープンキャンパス・入試説明会
11/28(月)	第2次 卒業論文発表会
12/10(土)	阪和地域リハビリテーション研究会
12/13(火)	学校法人運営調査
12/17(土)	公募制推薦入学試験C日程・社会人入学試験C日程・編入学試験D日程

■教員の活動

大阪府 理学療法士会 創立五十周年 記念事業

11/12 (土) に ザ・リッツ・カールトン大阪にて「大阪府理学療法士会創立五十周年記念事業」が行われ、本学から理学療法学専攻の教員2名が表彰されました。役員と代議員を長年務めている橋本雅至 教授が役員功労賞を、役員を3期以上務めた村西壽祥 准教授が特別役員功労賞を授与されました。



さらに、本学 大阪河崎リハビリテーション大学に対し、大阪府理学療法士会の公益活動への貢献（バリアフリー展出展・障がい者スポーツ大会サポート・障がい者関連団体との交流及び連携など）として感謝状が授与されました。



■学生の活動

本学卒業生が地域新聞に

大阪府河内市長野市にて配布されている地域新聞の「未来ポシェット」の2016年VOL.11 冬号に本学3期生の、三木康佑 理学療法士が取り上げられました。羽曳野市の医療法人春秋会 城山病院で5年目の理学療法士として「人の笑顔を増やしたい」、「最後まであきらめない」という強い思いで患者様やそのご家族を支援されています。今後の益々のご活躍を祈念致します。

Pickup Freshers
～若者からの熱いメッセージ～

理学療法士 人の笑顔を 増やしたい職業

病院の中で笑顔の方さかなく見かけませんよ。人は怪我や病気をしても、後遺症を患うようなかな。かきたくないもの、だから生活はどうか、どうなのかな。安が暮らして、思春期が過ぎて、家族も待たない。理学療法士は、どうして思春期から、家族も待たない。理学療法士は、どうして思春期から、家族も待たない。理学療法士は、どうして思春期から、家族も待たない。

「最後の笑顔」
理学療法士 三木 康佑さん
城山病院 理学療法士
大阪河崎リハビリテーション大学 卒業



■ イベント

オープンキャンパス

11/27 (日) に、本年度最後のオープンキャンパスを開催しました。



今回の体験授業は参加者に3専攻すべての授業を体験して頂きました。

理学療法学専攻では、「日常生活の動作を科学する」というテーマで理学療法士に必要なスキルの紹介等、セラピストになるための導入部分を紹介しました。

作業療法学専攻では、「遊びが治療になる？」をテーマに、楽しみを追究すること、その遊びの中に人の生活機能を引き出すことがあるということを知ってもらうため、例として遊びを1つ紹介しました。

言語聴覚学専攻では、「飲み込みのしくみ」をテーマに、私たちが何気なく食べたり飲んだりしている時に、実は脳や口やのどが驚くべきメカニズムで忙しく働いていることを紹介しました。



また、オープンキャンパスと同日に一般入試に向けて、予備校講師を招き入試対策講座を開講しました。



入試対策講座では過去問題集を用いて国語・数学・英語の解説を行って頂きました。講座にはAO入学試験や公募制推薦入学試験で既に合格された方も来られ、一般入学試験A日程の特待生選抜入学試験に備えるために、熱心にメモを取り先生の話に耳を傾けていました。

来年度パンフレット用の写真撮影

12/19 (月) に、在学生に協力してもらい、来年度版の大学パンフレット用の写真撮影を行いました。

国家試験勉強や模擬試験で忙しい時期に協力して下さった学生さんたちには感謝の一言です。協力して下さった学生さんはもちろんのこと、皆さんも完成を楽しみにしてくださいね。



2017年度入学予定者 入学前教育

11/20 (日) 2017年度AO入試合格者対象に入学前教育を行いました。

生物やノートの取り方の講義や、入学後の学修準備を行いました。

講義の後は、理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻に分かれて、演習を行いました。

入学予定者の相互理解や緊張をほぐすアイスブレイクプログラムの後、理学療法学専攻は「ストレッチ」、作業療法学専攻は「食事の際の動作」、言語聴覚学専攻は「飲み込み」の演習を在校生の協力を得てそれぞれ行いました。

次回の入学前教育は公募制推薦入学試験・指定校制推薦入学試験合格者と合流して1/8 (日) に実施予定です。

■ 地域貢献

阪和地域リハビリテーション研究会

12/10(土)に、第7回 阪和地域リハビリテーション研究会を開催しました。テーマは「認知症の早期診断から適切なケア推進まで ~近畿圏における最先端の取り組みについて交流・討論~」と題し講演を行いました。

講師として、医療法人 圓生会 松本クリニックより松本一卫生院長、社会福祉法人 由寿会より由井直子理事長、一般財団法人 宇治市福祉サービス公社より川北雄一郎事務局次長をお招きし、それぞれの現場での取り組みについて報告を行いました。

早期診断の重要性と認知症発症後どれだけ上手に病状と付き合っていくか、またそれぞれの段階において患者様の意識と、支援する方や施設との連携が重要である事など、参加された方は熱心に耳を傾けていました。



大阪河崎リハビリテーション大学

● 理学療法学専攻 ● 作業療法学専攻 ● 言語聴覚学専攻

〒597-0104 大阪府貝塚市水間 158 番地 TEL 072-446-7400 FAX 072-446-6767

E-mail nyushi@kawasakigakuen.ac.jp URL <http://www.kawasakigakuen.ac.jp/>